

「平成 2 1 年度全国学力・学習状況調査」結果の概要

1 調査の実施

(1) 調査の目的

- ①全国的な義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、各地域における児童生徒の学力・学習状況を把握・分析することにより、教育及び教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ②各教育委員会、学校等が全国的な状況との関係において自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握し、その改善を図る。

(2) 調査日

平成 2 1 年 4 月 2 1 日 (火)

(3) 岡山県の参加状況 (国立・公立・私立の合計) (国(H21):約3万2千校, 約223万人)

	参加学校数			参加児童生徒数		
	H 2 1	H 2 0	H 1 9	H 2 1	H 2 0	H 1 9
小学校	4 1 3 校 (4 0 9 校)	4 1 7 校 (4 1 3 校)	4 2 1 校 (4 1 7 校)	18,553 人 (18,266 人)	18,577 人 (18,288 人)	17,951 人 (17,669 人)
中学校	1 6 7 校 (1 5 8 校)	1 6 7 校 (1 5 8 校)	1 6 2 校 (1 5 3 校)	17,217 人 (16,436 人)	17,106 人 (16,356 人)	16,557 人 (15,832 人)
特別支援学校	3 校 (3 校)	4 校 (4 校)	3 校 (3 校)	9 人 (9 人)	32 人 (32 人)	16 人 (16 人)
総 計	5 8 3 校 (5 7 0 校)	5 8 8 校 (5 7 5 校)	5 8 6 校 (5 7 3 校)	35,779 人 (34,711 人)	35,715 人 (34,676 人)	34,524 人 (33,517 人)

※数値は、調査日に実施した学校・児童生徒数

※括弧内の数値は、公立の学校・児童生徒数

2 岡山県の学力調査の状況 (公立学校)

(1) 平均正答率 (Aは主として「知識」に関する問題, Bは主として「活用」に関する問題)

	年度	国 語						算 数					
		A			B			A			B		
		H 2 1	H 2 0	H 1 9	H 2 1	H 2 0	H 1 9	H 2 1	H 2 0	H 1 9	H 2 1	H 2 0	H 1 9
小学校	岡山	68.6%	63.5%	80.6%	49.3%	48.9%	60.0%	77.6%	69.5%	80.5%	52.4%	49.3%	62.1%
	全国	69.9%	65.4%	81.7%	50.5%	50.5%	62.0%	78.7%	72.2%	82.1%	54.8%	51.6%	63.6%
	差	△1.3	△1.9	△1.1	△1.2	△1.6	△2.0	△1.1	△2.7	△1.6	△2.4	△2.3	△1.5

	年度	国 語						数 学					
		A			B			A			B		
		H 2 1	H 2 0	H 1 9	H 2 1	H 2 0	H 1 9	H 2 1	H 2 0	H 1 9	H 2 1	H 2 0	H 1 9
中学校	岡山	77.7%	73.2%	81.9%	73.8%	58.8%	70.0%	62.4%	61.7%	71.9%	56.4%	47.7%	58.8%
	全国	77.0%	73.6%	81.6%	74.5%	60.9%	72.0%	62.7%	63.1%	71.9%	56.9%	49.2%	60.6%
	差	0.7	△0.4	0.3	△0.7	△2.1	△2.0	△0.3	△1.4	0	△0.5	△1.5	△1.8

※表中の「差」は、全国と岡山県との平均正答率の差を示している。

(2) 特徴 (8月27日現在の分析による。)

- 県全体の平均正答率は、全国平均を下回っているが、その差は昨年度より縮まっている。
- 項目別の平均正答率では、中学校国語Aで全国平均を上回っており、その他の項目では下回っているが、6つの項目で、昨年度より全国平均との差が縮まっている。
- 正答数の分布は、昨年度と同様に、全国の状況とよく似ているが、小学校では上位層がやや少ない。中学校では、昨年度より上位層の増加が見られる。
- 無解答率は、多くの設問において全国平均より高くなっているが、昨年度より改善が見られる。

3 調査結果の概要（公立学校）

（1）学力調査の設問ごとの解答状況から見える特徴

- 漢字の読みや式の計算等の基礎的・基本的な知識・技能を問う問題の正答率が高い。
- 与えられた資料から、必要な情報を適切に抜き出す問題の正答率が高い。
- 様々な文章や図・グラフ等の資料から情報を読み取り、条件に沿って事実や考えを書くことに課題がある。
- 一定の条件の基に求め方を考えたり、判断する根拠を説明したりすることに課題がある。

①平均正答率が高い主な設問

*「平均正答率」の欄の上段は県、下段は全国

小学校国語		平均正答率
A	[1-1]漢字を読む。(駅は混雑している)	95.4
	[4イ]実験報告文の小見出しとして適切なものを選択する。	95.2
B	[4一]作戦カードをもとに、ボールを渡す順番を整理する。	94.3
		94.7
	[2一]話し合いの中で出された意見を二つの立場に分ける。	85.9
		86.1
	[2一]話し合いの中で出された意見を二つの立場に分ける。	75.6
		75.5

小学校算数		平均正答率
A	[1(5)] $\frac{7}{6} - \frac{2}{6}$ を計算する。	97.6
	[1(3)] $204 \div 4$ を計算する。	97.8
B		94.6
		95.4
	[2(1)]上皿てんびんで消しゴムと分銅がつり合っていることを基に、消しゴムの重さを求める。	87.9
		90.2
	[5(1)]4月に集めたペットボトルの重さをグラフから読み取る。	80.7
		82.0

中学校国語		平均正答率
A	[8二1]漢字を読む。(空気の抵抗がある)	98.1
	[4一]先生の話から必要な情報を聞き取り、メモをとる。	98.2
B		92.2
		92.7
	[3-A]表に当てはまる一行を詩の中から抜き出す。	90.5
		91.4
	[3-B]表に当てはまる一行を詩の中から抜き出す。	89.8
		90.6

中学校数学		平均正答率
A	[5(1)]立方体の展開図において、与えられた面に平行な面を選ぶ。	95.1
	[2(1)] $3X \times (-4XY)$ を計算する。	95.4
B		90.9
		91.0
	[1(1)]「紋切り遊び」で1回折りのできる模様として、正しいものを選ぶ。	84.7
		85.3
	[2(1)]1段目の連続する3つの自然数が21, 22, 23のとき、3段目に入る数を求める。	84.1
		85.6

②平均正答率が低い主な設問（無解答率も併記）

*上段は県，下段は全国

小 学 校 国 語		平均正答率	無解答率
B	[1一] 報告文を読み、メモの中に調べた内容の1つめを書く。	11.1	22.4
		11.4	20.8
A	[8] 接続語を使って一文を二文に分けて書く。	12.4	33.7
		14.7	30.2

小 学 校 算 数		平均正答率	無解答率
B	[5(3)] 4月と6月の全体の重さを基にしたペットボトルの重さの割合の大小関係をとらえ、判断のわけを書く。	14.1	8.8
		17.7	7.6
	[1(3)] 長方形の紙にかかれた6つの円の半径の求め方について、長方形の縦の長さを使った求め方を基に、横の長さを使った求め方を書く。	30.0	6.9
		30.4	5.8

中 学 校 国 語		平均正答率	無解答率
A	[7一] 短歌について、言葉のつながりや意味の上から切れ目を付けたものとして適切なものを選択する。	33.9	0.9
		28.9	0.8
	[8三ア] 適切な語句を選択する。（急いでいるときは、靴をはくのももどかしい）	52.0	1.4
		49.3	1.4

中 学 校 数 学		平均正答率	無解答率
B	[3(3)] 蛍光灯と白熱電球の総費用について、2つの総費用が等しくなるおよその時間を求める方法を説明する。	19.4	52.6
		19.1	49.7
A	[8] 三角形の内角の和が 180° であることの証明について正しいものを選ぶ。	28.0	1.4
		28.9	1.2

③上記以外で無解答率が高い設問

*上段は県，下段は全国

小 学 校 国 語		無解答率
A	[9] 毛筆の下書きについて書き直す内容を書く。	35.6
		33.3
	[2_3] ローマ字を読む。[happa]	32.5
		29.3

中 学 校 数 学		無解答率
B	[5(2)] 「箱を変更する」と決めてゲームを行う場合、最初に選んだ箱がはずれだとする、箱を変更すれば必ず当たる理由を説明する。	26.2
		23.1
	[4(1)] 2つの線分が平行になることを、三角形の合同を利用して証明する。	24.3
		21.2

(2) 児童生徒質問紙調査から見える特徴

児童生徒質問紙調査では、昨年度と同様に、自尊感情にかかわる項目は、概ね全国に比べて肯定的回答が多く、特に、中学校において、学習に対する関心・意欲が高くなっている。一方、学習習慣や言語活動にかかわる項目に課題が見られた。

①全国平均より高い回答率を示した主な項目

小学校	県	全国	差	中学校	県	全国	差
自分には、よいところがあると思う。	78.0	74.6	3.4	自分には、よいところがあると思う。	66.2	61.2	5.0
読書は好きだ。	75.2	71.8	3.4	学校で好きな授業がある。	82.2	78.7	3.5
普段の授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていると思う。	81.8	79.3	2.5	普段の授業で、自分の考えを発表する機会が与えられていると思う。	73.1	69.6	3.5
難しいことでも、失敗をおそれないで挑戦している。	76.4	74.1	2.3	「総合的な学習の時間」の勉強は好きだ。	63.7	60.5	3.2
家の人と普段(月～金曜日)、夕食を一緒に食べる。	91.1	89.0	2.1	国語の勉強は好きだ。	59.5	56.7	2.8

②全国平均より低い回答率を示した主な項目

小学校	県	全国	差	中学校	県	全国	差
家で、テストで間違えた問題について、間違えたところを後で勉強している。	45.7	49.5	-3.8	学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たり2時間以上勉強をする。	24.1	35.7	-11.6
400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くのは難しいと思わない。	27.2	30.7	-3.5	家で学校の授業の復習をしている。	33.4	40.5	-7.1
学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たり2時間以上勉強をする。	22.3	25.7	-3.4	家で苦手な教科の勉強をしている。	37.0	41.7	-4.7
普段の授業では、本やインターネットを使って、グループで調べる活動をよく行っていると思う。	49.7	53.0	-3.3	家で、テストで間違えた問題について、間違えたところを後で勉強している。	34.9	38.1	-3.2
家で自分で計画を立てて勉強している。	52.1	54.7	-2.6	普段の授業では、生徒の間で話し合う活動をよく行っていると思う。	49.8	52.7	-2.9

(3) 学校質問紙調査から見える特徴

学校質問紙調査では、平成20年度本調査の活用にかかわる項目は、概ね全国に比べて肯定的回答が多いものの、昨年度同様に習熟の程度に応じた指導にかかわる項目に課題が見られた。

①全国平均より高い回答率を示した主な項目

小 学 校	県	全国	差	中 学 校	県	全国	差
第6学年を対象とした授業参観を、前年度、年間に4回以上実施した。	94.6	81.7	12.9	国語の指導として、家庭学習の課題(宿題)を与える。	98.2	87.0	11.2
平成20年度全国調査の自校の結果について、保護者や地域の人たちに対して公表や説明を行った。	84.7	72.1	12.6	平成20年度全国調査の調査問題を平成20年度において、第3学年や他学年の授業の中で活用した。	61.4	50.8	10.6
平成20年度全国調査の調査問題を平成20年度において、第6学年や他学年の授業の中で活用した。	71.8	59.8	12.0	平成20年度全国調査の自校の結果について、保護者や地域の人たちに対して公表や説明を行った。	78.3	68.1	10.2
平成20年度全国調査の自校の結果を、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で活用した。	88.8	83.5	5.3	長期休業日を利用した補充的な学習サポートを実施した。	87.8	80.3	7.5
地域の人が自由に授業参観などができる学校公開日を設けている。	86.4	81.9	4.5	数学の指導として、家庭学習の課題(宿題)を与える。	97.0	90.5	6.5

②全国平均より低い回答率を示した主な項目

小 学 校	県	全国	差	中 学 校	県	全国	差
放課後を利用した補充的な学習サポートを実施した。	37.1	60.9	-23.8	数学の授業において、習熟度別の少人数による指導を行うにあたって、各学習集団の習熟度に合わせて既存の教材を組み合わせたか、独自に個人差に合わせて作成した教材を用いた。	18.6	33.2	-14.6
算数の授業において、前年度に習熟の早いグループに対して発展的な内容について少人数による指導を行った。	30.1	50.7	-20.6	模擬授業や事例研究など、実践的な研修を行っている。	68.1	82.5	-14.4
算数の授業において、前年度に習熟の遅いグループに対して少人数による指導を行い、習得できるようにした。	33.9	54.3	-20.4	校長が、校内の授業を週に2～3日以上見て回っている。	54.2	68.3	-14.1
算数の授業において、習熟度別の少人数による指導を行うにあたって、各学習集団の習熟度に合わせて既存の教材を組み合わせたか、独自に個人差に合わせて作成した教材を用いた。	25.0	43.1	-18.1	学校支援地域本部などの学校支援ボランティアの仕組みにより、保護者や地域の人が学校における教育活動や様々な活動に参加してくれる。	41.5	55.1	-13.6
国語の指導として、補充的な学習の指導を行った。	57.1	68.9	-11.8	数学の授業において、前年度に習熟の早いグループに対して発展的な内容について少人数による指導を行った。	28.2	41.5	-13.3

4 今年度の県の取組

(1) 岡山県学力向上アクションプラン

- 学力向上検討委員会
 - ・小学校から高等学校までを見通した学力向上の方向性の検討
 - ・岡山県学力向上アクションプランの検証・改善
- 授業改革支援事業
 - ・授業改革協力員による校内研修の充実
 - ・10中学校区の研究指定校による実践研究の推進
 - ・各学校で実施する授業改革研究会の支援（大学教官・指導主事の派遣）
 - ・算数・数学アドバイザーの派遣
 - ・学校力向上支援スタッフの派遣
 - ・素材集の作成（Webページに掲載）
- 学習到達度確認テスト（小学校1年～中学校3年対象）
 - ・算数・数学の単元別及び年度末テストの作成
 - ・読解力テストの作成

(2) 全国学力・学習状況調査結果の活用（学校・市町村教育委員会に対する支援）

- 分析ツール（レーダーチャート作成ツール、学力と質問紙の相関ツール）の配付
- 児童生徒用個人シート（レーダーチャート・自己評価シート等）の配付
- 学力・学習状況改善プランの活用

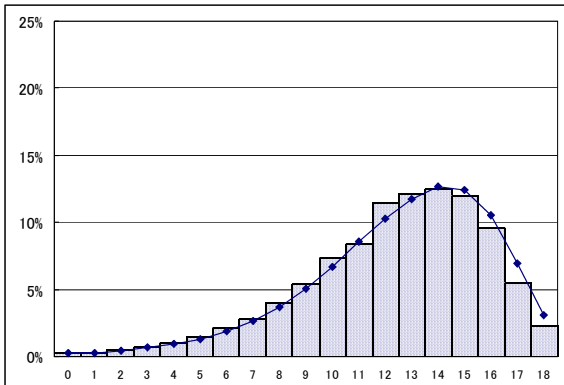
(3) 今後の取組

- 全国学力・学習状況調査結果の詳細な分析
- 学力調査説明会の実施
- 「学習の手引き」「授業改革の提案」等学力向上推進のための追加資料の配付

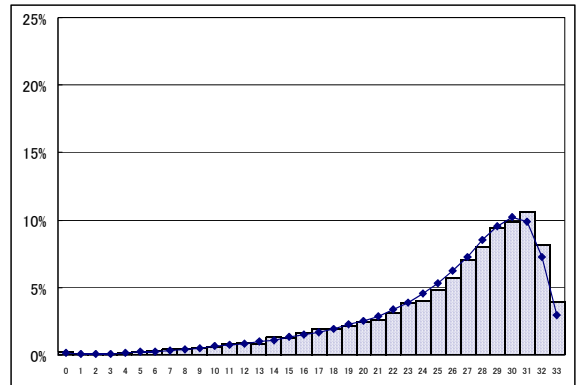
学力分布の状況 正答数分布グラフ（横軸：正答数，縦軸：割合）

※折れ線グラフ：全国 棒グラフ：岡山県

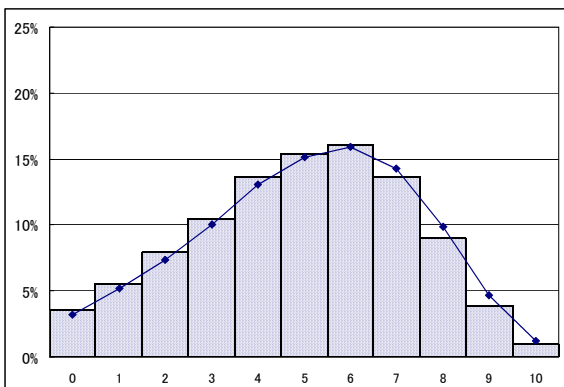
小学校 国語A



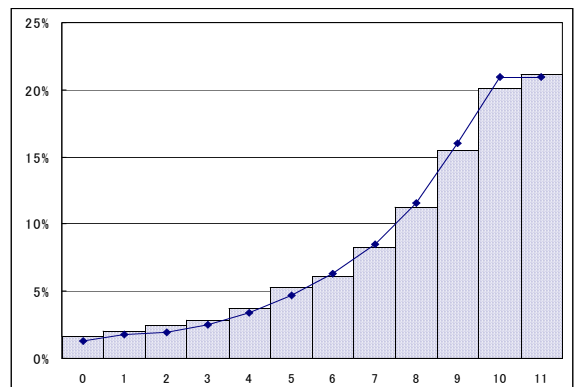
中学校 国語A



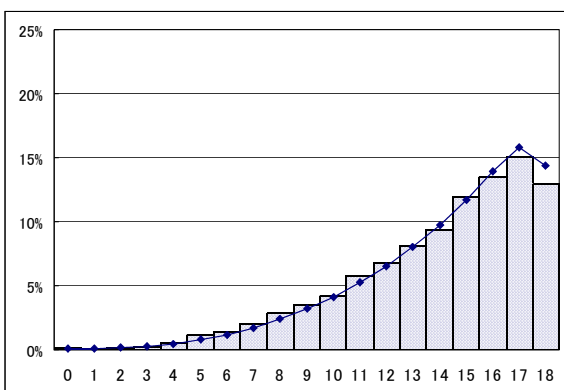
小学校 国語B



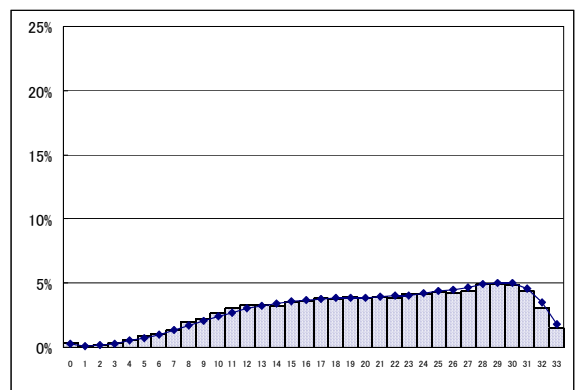
中学校 国語B



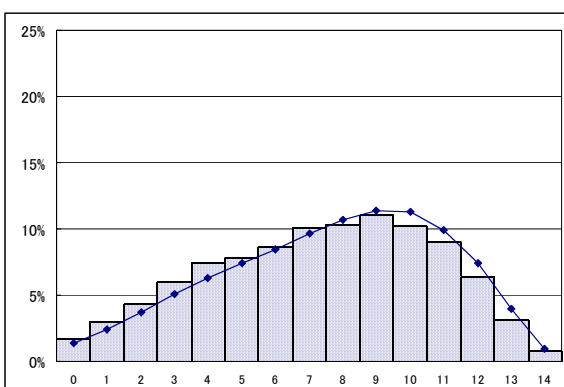
小学校 算数A



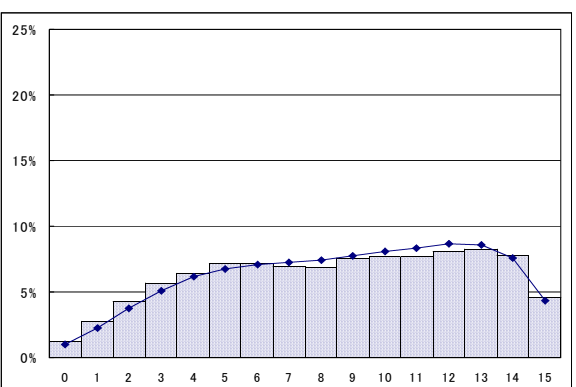
中学校 数学A



小学校 算数B



中学校 数学B



平成21年度 全国学力・学習状況調査 都道府県別(公立)平均正答率一覧

		小:国語A	小:国語B	小:算数A	小:算数B	中:国語A	中:国語B	中:数学A	中:数学B
1	北海道	66.0	45.9	74.1	51.5	76.1	72.6	61.1	55.4
2	青森県	73.6	54.0	83.6	57.1	78.9	75.7	64.2	56.0
3	岩手県	71.2	53.0	80.0	55.3	78.2	74.2	57.9	53.0
4	宮城県	67.4	49.8	77.5	54.0	78.1	76.4	62.1	57.7
5	秋田県	75.3	60.4	86.2	63.7	82.3	81.8	68.8	63.4
6	山形県	71.3	51.0	78.3	54.0	80.4	78.7	65.1	59.2
7	福島県	70.1	50.8	77.7	53.1	78.3	75.7	62.3	56.3
8	茨城県	68.9	50.7	77.1	53.5	77.6	75.8	60.9	56.6
9	栃木県	68.8	49.9	78.9	53.3	77.8	76.5	62.8	57.9
10	群馬県	70.9	50.2	78.3	54.1	79.0	77.3	64.7	60.3
11	埼玉県	70.1	51.0	77.5	55.5	76.5	74.2	61.6	55.9
12	千葉県	71.0	51.3	79.8	56.3	76.8	74.6	61.6	56.7
13	東京都	71.6	53.6	79.7	58.7	77.0	73.8	62.6	56.8
14	神奈川県	68.7	50.8	78.1	56.6	75.6	73.2	62.2	56.7
15	新潟県	71.2	50.3	78.3	54.1	77.7	75.1	61.8	56.7
16	富山県	72.4	51.7	80.5	56.8	81.8	80.1	68.4	63.6
17	石川県	72.7	53.4	80.7	57.5	79.9	77.8	67.0	61.9
18	福井県	75.5	57.0	84.2	58.7	82.0	80.8	70.5	65.2
19	山梨県	69.3	49.8	76.8	53.6	77.6	77.1	61.9	57.1
20	長野県	70.4	51.1	79.5	54.4	77.9	74.8	62.5	56.7
21	岐阜県	69.2	51.0	77.2	54.7	79.1	78.5	65.8	62.7
22	静岡県	70.8	49.2	79.3	54.1	79.2	77.3	65.8	60.7
23	愛知県	70.4	49.7	79.2	55.2	77.4	75.0	65.9	59.7
24	三重県	67.8	46.9	76.0	52.5	75.9	73.3	62.7	56.5
25	滋賀県	68.3	48.0	76.8	53.4	76.8	74.0	63.6	57.2
26	京都府	71.6	53.4	82.2	56.6	75.9	73.0	62.3	55.5
27	大阪府	68.3	49.4	78.4	53.8	72.7	68.3	59.9	52.5
28	兵庫県	70.7	50.9	79.2	54.8	77.2	74.0	64.7	57.9
29	奈良県	70.6	51.4	79.8	56.0	78.2	76.1	65.3	59.0
30	和歌山県	69.8	48.4	79.4	53.0	74.9	70.7	63.1	56.0
31	鳥取県	70.9	52.5	81.5	55.9	79.3	76.4	64.0	58.4
32	島根県	68.1	50.3	77.9	52.7	79.0	78.1	62.2	58.4
33	岡山県	68.6	49.3	77.6	52.4	77.7	73.8	62.4	56.4
34	広島県	72.9	53.8	81.3	56.6	77.6	74.8	62.9	56.2
35	山口県	68.6	49.6	78.6	52.8	78.0	76.3	64.0	58.6
36	徳島県	71.6	51.2	80.2	52.9	77.0	73.5	65.3	56.9
37	香川県	71.2	54.5	80.5	55.9	79.1	75.9	66.5	59.6
38	愛媛県	70.4	50.4	79.3	54.3	77.8	75.5	63.8	58.4
39	高知県	68.5	49.5	76.4	52.1	74.2	69.8	56.5	49.7
40	福岡県	69.0	48.0	77.6	53.2	76.7	74.8	60.7	55.6
41	佐賀県	68.9	49.2	78.8	52.3	76.7	74.5	61.7	56.8
42	長崎県	68.8	48.7	78.2	53.3	78.1	76.5	63.6	58.7
43	熊本県	71.1	50.6	80.3	54.5	77.7	76.3	63.0	58.2
44	大分県	69.4	48.1	78.7	51.8	76.8	73.9	61.4	53.9
45	宮崎県	71.8	49.2	79.8	51.1	78.0	77.2	64.8	57.2
46	鹿児島県	70.9	49.3	78.6	52.4	76.1	74.7	61.1	54.1
47	沖縄県	64.5	46.4	77.1	48.9	69.5	68.0	51.4	45.4
	全国	69.9	50.5	78.7	54.8	77.0	74.5	62.7	56.9